



保護者の皆さまへ

鹿大だより

第19号



編集・発行 / 国立大学法人 鹿児島大学広報センター
〒900-8580 鹿児島市市部元1丁目21番24号 TEL099-285-7035 FAX099-285-3854 E-mail: sbunsho@kuas.kagoshima-u.ac.jp

「きんぎょんキャンパスレポート」の紹介 〜MBのテレビ「かごしま4(おひご)」コーナー〜

① 法文学部(12月20日放送)

●出演者：人文学科2年 中村夏佳さん、上野綾華さん、中村麻鈴さん
●入学理由：兵庫出身ですが、小5まで鹿児島に住んでいました。鹿児島が大好きで戻りたかったのと発達心理学を学べる鹿児島大学に決めました。(中村夏佳) / 小学生の頃から英語が大好きで、英語力だけでなく、歴史や文化など様々な知識を身につける必要を感じていた時に、人文学科の体験授業を受けたこととオープンキャンパスで先生が海外の話を楽しそうに話されていて魅力を感じました。(上野) / 高校の時から映像制作やマスコミのメディアに興味があり、それを学べる人文学科は魅力がありました。(中村麻鈴)

●現在の取組：発達心理学のほかに、認知心理学、社会心理学、臨床心理学と色々な分野の勉強をしています。心理学の実験で、ねずみの尻尾を掴むというのがあります。ドキドキしました。(中村夏佳) / 多文化共生というのがあります。海外の歴史や文化などについて幅広く学んでいます。夏休みにアメリカのノースダコタ州に海外研修プログラムで行き、海外の文化への関心が深まりました。(上野) / 授業の映像制作演習で、日置市の美山を舞台に下キュメンタリー映画を制作しています。(中村麻鈴)



③ 理工学研究科(理学系)(6月28日放送)

●出演者：地球環境科学専攻1年 福島駿馬さん、神園耕輔さん
●入学理由：生物学のことを研究したくて、室内の実験・観察だけでなく野外での観察や調査などフィールドワークで活動出来る理学部に進学しました。(福島) / 昔から生物が好きで、生物の行動と生態を研究したくてこの学科(地球環境科学科)に来ました。(神園)

●現在の取組：貝類をテーマに調査を行っていて、離島も含む鹿児島県の河川や湖などの貝類を採取し、どこで、どういう種類の貝類が採れたのか情報を収集し、しっかりと分布図を作っていると思っています。(福島) / 鹿児島県本土のかたむむりの研究で、分布の調査をしています。殻の形状が違ったりして、鹿児島だと離島を併せて400種類以上あります。(神園)

●目標：中学校の理科教員を目指しています。大学で学んでいることを活かして、子供達に生物学の楽しさ不思議さを伝えていければと思っています。(福島) / まだ具体的に決めていませんが、研究を始めたばかりなので、今は研究に一生懸命に取り組んでいきたいです。(神園)



⑤ 歯学部(8月23日放送)

●出演者：歯学科5年 石川聡一郎さん、樋渡萌美さん
●入学理由：人との会話やご飯をおいしく食べる生活は口が健康でないと出来ません。長く健康で過ごせるよう口を守る歯科医師になりたいと思いました。(石川) / 高校生の時に、祖母が顎の骨の病気で長く歯学部附属病院に入院しました。その時に先生方が祖母と一生懸命に向き合い、とてもきれいに治療されたのを見て、人の健康に関わる仕事がいいなと思いました。(樋渡)

●現在の取組：授業は講義だけでなく、実習や演習もあります。歯科医師は手先を細かく使う作業が多いですが、練習を重ねていくうちに出来るようになっていく達成感を得られます。(石川) / 2年時に解剖の実習があります。そこで、実際に目にする人体の不思議さに驚くことも多いことを学ぶことができました。(樋渡)

●目標：口腔外科医になり、口腔周囲の悪性腫瘍や顎骨の変形症などを治療研究して、少しでも多くの患者さんを助けたいと思っています。(石川) / 病気や事故で歯を失った祖母を見て、食べること、話すこと、笑うことの大切さを実感しました。高齢者の方が一人でも多く、自分の歯で噛めた健康な生活が送れるように、患者さんへ寄り添った歯科医になりたいと思っています。(樋渡)



② 教育学部(11月22日放送)

●出演者：保健体育専修2年 濱崎連さん、国語専修2年 藤谷響さん
●入学理由：両親とも教師でした。自分が通う小学校で父の働きを見てとても大変な仕事と思いましたが、多くの人から尊敬され慕われる姿に、私も教師になりたいと思いました。(濱崎) / これまで多くの良い先生方と出逢い、その先生方に憧れて、私も子供達を思いやる素直な先生を目指したいと思いました。(藤谷)

●現在の取組：自分で授業を企画し実践してみるものもあります。実習では、学校経営の現状を体感できたり、子供達と関わることで多くを知ることができたり感じたりすることが出来ます。(濱崎) / 9月に学校環境観察実習で奄美に行きました。2日間の学校での実習は、子供達や先生方と話をしたり、授業参観をする中で、たくさん気づきを得られました。また、離島での教育の現状と課題を知ることが出来ました。(藤谷)



④ 医学部(9月27日放送)

●出演者：医学科4年 大庭優士さん、保健学科4年 當房見穂さん
●入学理由：地域に暮らす人々が健康に安心して暮らせるように何か役に立ちたいという気持ちからです。(大庭) / 県内の地方出身ですが、小さい時から、まわりの方々の温かさやふれながら生活を送ってきました。今までお世話になった方々の健康を守りたいという立場から、地元で医療者として地域に貢献したいと思っています。(當房)

●現在の取組：鹿児島独特のウイルスに関する研究、例えばH1N1V-I(ヒト細胞白血病ウイルス)の研究に力を入れています。サークルでは、部員60人を超える水泳部の部長として1年間頑張りました。人をまとめることの難しさや大勢で一体感を持つことが達成することは貴重な経験になりました。(大庭) / 沖永良部での実習では、地元の方々とコミュニケーションを大事にしなが、一緒にキーホルダーや置き書きを手作りに、喜んでもらえました。社会医学研究会というサークルで、がん患者さんとご家族の支援のためのチャリティイベントの実行委員をしたことが、がんに対する見方の幅が広がった経験になりました。(當房)

●目標：患者さんと真摯に向き合って、患者さんのために勉強を続けていける医者になりたいと思っています。(大庭) / 人のよさや苦しみに共感できる医療者になりたいと思っています。(當房)



テレビ番組で 学生達が取り組む研究やサークル活動を紹介します

鹿児島市のテレビ局MBC南日本放送で毎週月～金曜日の15:50から放送されている番組「かごしま4」で毎月第4火曜日に「きんぎょんキャンパスレポート」というコーナーが平成28年1月から始まりました。このコーナーでは、本学学生の取り組みやイベントを紹介しています。

コーナーの内容作りは、学生が取り組んでいる研究やサークル活動等の話を聞くところから始まります。最初は緊張していた学生も話すうちに、話が弾んできます。この内容を元に台本作りに取り組みます。学生から、放送の中で使用する写真や動画を提供してもらいますが、時には、研究室まで行って動画を撮影することもあります。学生が話してくれた内容、写真や動画の内容から番組の台本を完成させます。

放送日当日、まずはリハーサル。台本を元に司会者と出演学生が進行を確認しますが、活発にユーモアを交えて話す学生には感心します。生放送本番、司会者が学生のいいところを上手に引き出します。出演を終えてスタジオを出ると、緊張した面持ちから、ホッととした表情に変わる様子が印象的です。

「こんな機会を与えてくれてありがとうございます」と学生から言われると、番組を開始した頃は試行錯誤を繰り返しながら苦労していましたが、この仕事に携わることが出来て本当に良かったと感じています。

この放送を見た高校生が、鹿児島大学に興味を持ち、さらに入学してくれれば嬉しく思います。(鹿児島大学広報室長 / 本田敏幸)

「わっしょんキャンパスレポート」の紹介 ～MBCテレビ「かごしま4(おに)」コーナー～

⑥ 理工学研究科(工学系) (7月26日放送)

●出演者：化学生命・化学工学専攻2年 床次辰樹さん、1年 坂本響子さん
 ●入学理由：実家が美容院でシャンプーが身近にあったこともあり、人に害のないシャンプーや洗剤などの生活用品に興味があったので、ものづくりのできる工学部に進学しました。床次／高校の時の化学の実験で興味を持ち、化学を使った製品やものづくりとつながり、化学を応用したものを勉強したい。(坂本)

●現在の取組：

胃薬と抗がん剤を併用して、抗がん剤の効果を高める研究をしています。実際に使われている胃薬より効果が出るものを調べています。(床次)化粧品や日焼け止めなどの研究をしています。日焼け止めは基本的には水と油で出来ているので、分離しないような安定性を保つ研究です。(坂本)

●目標：化学メーカーで、将来、人の生活に近い物で役に立つ物を作れたら。(床次)肌にも悪影響のないような化粧品を作りたいです。(坂本)

※実験風景を動画で紹介



実験風景紹介 坂本さん 床次さん

⑧ 水産学部 (5月24日放送)

●出演者：水産学科4年 安部佳苗さん、高梨瑞穂さん
 ●入学理由：鹿大水産学部卒業生の父に幼い頃によく連れて行ってもらった水族館や釣り、魚や海に関する知識を披露する父の姿に憧れて(安部) 他大学の水産学部出身の先輩からの勧めと生物学への興味から水産という学問に向かわせ、研究内容と鹿児島に魅力を感じて横浜から鹿大に進学しました。(高梨)

●現在の取組：錦江湾の未利用低利用水産資源の有効利用策の構築をテーマに研究しています。錦江湾には知られていない美味しい魚やエビがたくさんいます。生態学的調査を行い、それらを市場に流通させることを研究して、その成果を、魚食普及のイベントや小学校での出前授業で還元する活動にも力を入れています。(安部) クロマグロの養殖で、子供の時期のクロマグロの魚のための低コストのよりよい餌、配合飼料開発を研究しています。カッター部に所属し、カッターを3年間必死に漕ぎました。(高梨)

●目標：本場に美味し水産物を消費者に届ける食品業界の営業職を目指しています。(安部) 飼料つくりやクロマグロの養殖業に携わり、クロマグロが食卓から失われないためにも研究を続けたい。(高梨)



高梨さん 安部さん

⑨ 共同獣医学部 (4月26日放送)

●出演者：獣医学科4年 吉田晴香さん、末野和樹さん
 ●入学理由：動物が好きで、動物の辛さや痛みを理解したく、獣医師として学びたかった。(吉田) 動物と接する仕事に就きたかった。(末野)

●現在の取組：殺処分を減らすために、動物愛護サークルを立ち上げ、毎年11月頃に鹿児島市が主催する動物愛護フェスティバルにボランティアで参加したり、SNSで動物愛護啓蒙を行っています。(吉田) 勉強会を実施して、年間で犬2万1千匹、猫7万9千匹が殺処分された現状を伝えたい。(末野)

●目標：立派な獣医師になることが第1の目標、今取り組んでいる動物愛護の活動を後輩達に引き継ぎたいです。(吉田) 飼い主や動物に頼られる獣医師になり、獣医師として出来る動物愛護の活動を続けたいです。(末野)

※この日は、熊本出身のメンバーで有志を募り、熊本地産の養豚金釜金活動等を行っている一員の馬本寛子さん(法文学部2年)も出演しました。



馬本さん 末野さん 吉田さん



◎留学だより
 法文学部 人文学科4年 徳永千鶴さん
 スペインバレンシア工芸大学 (2015年8月25日～2016年6月20日)

カリフォルニアとニュージーランドにも留学しましたが、ヨーロッパの歴史や文化に興味があり、世界遺産や美術作品を実際に見たいという願望がありスペインに留学しました。空港に着くなり、スペイン語の渦に翻弄され「やるしかない」とスタートしました。スペインは、晴れた日が多く、青い海と澄みきった青空、そして街並みの美しさに圧倒されました。楽しみにしていたサグラダファミリアは、地下鉄から上がった瞬間にそびえ立つその姿にエネルギーを感じ、興奮したことを覚えています。大学では、語学だけでなく近現代芸術史や古典映画の歴史も学びました。キャンパス内には学生が壁に絵を描いたり、オブジェや廃材で作った像もあり遊び心を感じました。授業はほとんど対話型だったので、その時は理解できない内容が多かったのですが、あとでクラスメイトに教えてもらいました。

文化の違いで意思疎通がうまくいかない時、相手に理解してもらえようと言葉で伝えることはとても難しく感じましたが、黙っていても始まらないのはどこに居ても同じなので、自分の意見をちゃんと主張していくことの大切さを今回の留学で学びました。いろんな国の友人が出来たこと、スペイン語で友情を築けたことは私の財産になっています。学習交流ブラザでお昼に「English Lunch Table」を開催していますが、英語だけでなく曜日によってスペイン語やフランス語、中国語の会話も出来ます。いろんな国の留学生と交流するチャンスなので、まずは気軽に会話することから始めてみませんか。

シェアハウスの仲間たちと(右が徳永さん)

法文学部 法政策学科4年
 李 燕冲(リ えんちゆう)さん 中国 福建省出身

2013年4月に法文学部法政策学科へ入学。鹿児島大学中国留学生学生会会長。日本と中国の文化交流を推進し、お互いに文化の理解を深めるための活動を行っている。

Q.留学先に日本、鹿大を選んだきっかけは?
 A:子どもの頃から日本のアニメ等にあふれていて、面白い国と思ったのと、先進国と言われる日本の大学で、日本文化を理解したかったためです。日本語は喋れなかったので、千葉の日本語学校に通い、その後国立大を目指して猛勉強しました。住みやすく、温泉や活火山がある鹿児島大学を選択しました。日本の歴史も好きで明治維新にも興味があります。

Q.日々の生活での文化の違い、感じること A:固定観念にとわかれず、多くの価値観を受け入れることができる点です。日本に来て出会った多くの外国人留学生に価値観の多様性を感じます。

Q.鹿児島大学中国留学生学生会での活動について A:鹿大には150人弱の中国人留学生があります。学生会メンバーとともに中国春節文化体験活動や中国人留学生とのサマーキャンプ、バスツアー、お祭りへの参加等を企画して、いろんな分野で積極的に交流事業を展開しています。会長として、年間の活動企画、予算表の作成、メンバーの役割分担、外部との打ち合わせ等をこなしてきました。

Q.今後の目標について A:春から肥後銀行で働き、キャリアを積んでから上海に駐在して、中国経済の最新線と向き合い、多様なサポート業務を展開したいと考えています。

●平成28年度学長表彰授与者

※学年は表彰時の学年

Table with 2 columns: 被表彰者 (Recipient) and 表彰理由 (Reason for Award). Lists various students and faculty members and their achievements across different departments.

- 鹿児島大学福盛賞
●鹿児島大学工業倶楽部賞
●進取の精神学生表彰

先生インタビュー TEACHER'S INTERVIEW
水産学部の先生から人間の健康を科学する
水産物を使った人間の健康の研究について、特別に注目して、特に健康の観点から、水産物の活用について、塩崎一弘先生にインタビュー。

●平成29年度 全学キャリア・就職支援プログラム(予定)

◎1~2年生対象	
4月~7月	● 共通教育科目前期「キャリアデザイン」開講
9月19~22日	● 共通教育科目「実践キャリアデザイン」開講(夏期集中授業・4日間)
10月~翌年2月	● 共通教育科目後期「キャリアデザイン」開講
1月10日	● 1,2年生対象進路ガイダンス
◎3年生(修士1年生)対象	
5月~翌年4月	● 公務員採用試験対策講座開設(大学生協)
5月24日	● 就活キックオフ特別セミナー
6月上旬	● 学生向け就職小冊子「就職支援ガイドブック」発行
6月14日	● 第1回就職ガイダンス「就活の基本とインターンシップ」
8月9日	● 就職支援講座Ⅰ「就活マナー実践」
9月28日	● 業界別研究講座①金融・卸売業界②食品・医薬品業界
10月4日	● 第2回就職ガイダンス「公務員希望者向けガイダンス」
11月1日	● 第3回就職ガイダンス「文理別・業界(企業)研究」
12月~翌年6月	● 教員採用試験対策講座開設(大学生協)
12月6日	● 第4回就職ガイダンス「エントリーシート対策」
12月20日	● 第5回就職ガイダンス「人事担当者による理系対象のパネルディスカッション」
1月17日	● 第6回就職ガイダンス「面接対策&就活ストレス対処法」
2月上旬	● 企業向け小冊子「求人のための大学紹介」発行
2月13日	● 就職支援講座Ⅱ「就活まとめ講座1&2」
2月13日	● 第7回就職ガイダンス「合説必勝法&グループディスカッション対策」
2月14日~16日	● 就職支援講座Ⅲ「模擬面接&グループディスカッション実践」(3日間)
3月上旬	● 学内合同企業セミナー(ブース形式・2日間)
3月中旬	● 学内個別企業セミナー・フェア(講義形式・3日間)
◎4年生(修士2年生)対象	
4月~翌年3月	● 学内個別企業説明会(随時)
4月19日	● 公務員採用試験説明会(国・鹿児島県・鹿児島市等)
4月26日	● 九州地区への就職希望者向け学内合同企業説明会(ブース形式)
5月中旬	● 県外公立学校教員採用試験説明会
5月下旬	● 鹿児島県公立学校教員採用試験説明会
6月21日	● 就活応援講座Ⅰ「公務員・教員受験者向け集団討議対策」
7月5日	● 就活応援講座Ⅱ「就活見直し講座」
7月12日	● 県内企業による学内合同企業説明会(ブース形式)
11月22日	● 個別進路相談会
◎全学年対象	
10月~翌年2月	● 業界・職種研究セミナー(随時)
10月18日	● 中小企業の魅力発見講座
11月・2月	● 卒業生による就職支援セミナー(年間2回)

※上記以外にも各学部主催で就職ガイダンス、説明会等を開催しています。詳細は各学部の就職担当窓口まで。

●平成29年度学事日程	
4月7日	入学式
4月12日	授業開始
8月9日・9月30日	夏季休業
9月4日	授業開始
9月6日・8日	成績発表
9月13日	後期履修申請期間
10月2日	授業開始(後期)
11月9日・13日(予定)	大祭
12月26日・1月3日	冬休業
2月23日	成績発表
3月13日・15日	平成30年度前期履修申請受付期間
3月23日	卒業式

KAGOSHIMA UNIVERSITY ANNUAL SCHEDULE 2017-18 (共通教育の例)

INFORMATION

インフォメーションセンターでは、鹿児島大学マスコットキャラクター「さつ」のオリジナルグッズをはじめ、大学ブランド焼酎、附属農場生産物などを販売しています。

※本館の送付にあたっては、在学生が学務Webシステムに登録している4月21日現在の住所データを利用しています。本館がお手元に届かない場合や住所変更時は、事前に確認や変更手続きを行ってください。

美術部

共同作業で達成感を味わう

1954年創部のユニークで個性豊かな部員が集まる美術部では、男子13名、女子18名の個性が希望する様々なジャンルに取り組み、毎週水曜日の部会を通じて、日々制作に励んでいます。作品発表の場として、年数回の展示会や学内での有志展を開催している中、市立美術館での展示会では、レイアウト・宣伝・制作などすべて部員によって共同で進めており、自分の意見を反映させる話し合いも盛んに行っています。

また、鹿大祭では、美術部みこしは毎年多くの人の関心を集めており、学祭期間中に開催する「美々展」には、1,000人以上の来場者が訪れ、様々な意見をいただくことで制作の原動力に繋がっています。

1月に行われる冬展の様子



朝山毅市長と前田秀賢学長との対談が行われました。

(左から)朝山市長、前田学長

10月31日、学長・役員と学部学生19名との懇談会を開催しました。はじめに前田秀賢学長から3年生志望にあるとあり、皆さんの挑戦心や行動力が本学の発展や活性化につながるのと思っていますので、ぜひ活発な意見をお願いしますと挨拶がありました。引き続き、前田学長から今後の鹿大について説明があり、さらにフリータイム形式で懇談しました。

出席した学生からは、①離島や地域に貢献する人材、②社会人教育、③グローバル化に向けた授業、④他学部との交流授業、⑤自習などの修学環境などに関して感じている意見や要望が出され、活発な意見交換が行われました。

鹿大の主な出来事 平成28年10月~29年3月

EVENTS IN KAGOSHIMA UNIVERSITY

詳細は、大学HPをご参照ください。
https://www.kagoshima-u.ac.jp

●学長と学部学生との懇談会を開催

10月31日、学長・役員と学部学生19名との懇談会を開催しました。はじめに前田秀賢学長から3年生志望にあるとあり、皆さんの挑戦心や行動力が本学の発展や活性化につながるのと思っていますので、ぜひ活発な意見をお願いしますと挨拶がありました。引き続き、前田学長から今後の鹿大について説明があり、さらにフリータイム形式で懇談しました。



●教育学部4年の中尾隼太さんが7人制ラグビー日本代表選征メンバーに選出されました。



●韓国の学術交流協定校を訪問した様子。

●教育学部4年の中尾隼太さんが7人制ラグビー日本代表選征メンバーに選出されました。

教育学部4年生でラグビー部の主将を務める中尾隼太さんが、7人制ラグビー国際大会の男子セブンズ日本代表の一員に選出され、2016年12月2日、3日のドイツ大会(UAE)と、12月10日、11日の南アフリカ大会に遠征しました。中尾さんは、ドバイ大会でのパフォーマンスが評価されて、南アフリカ大会遠征メンバーに引き続き選出されたものです。

ラグビー部は、平成28年には第66回全国地区対抗大会大会優勝、第46回鹿児島県7人制大会優勝、新たに学術交流協定を締結した志北大学校と今後の学術交流活動の礎を築くことに加え、既に学術交流協定を締結している祥明大学校及び志北大学校は、両大学間において学生交換留学及び学術交流が順調に進んでいることを踏まえ、一層の連携及び協力関係を構築することを主な目的として、各大学の特色ある重点領域研究を把握するとともに、今後の具体的な学術交流活動の可能性について意見交換を行いました。

●鹿児島大学SPOCのエンコイーツ活動が第6回毎日地球未来賞・奨励賞受賞

エコイーツ活動として知られる鹿児島大学 Sustainability

忠北大学校での記念撮影

●Campus Town (S.C.P.)が第6回毎日地球未来賞の奨励賞を受賞

2017年7月12日(毎日新聞)大阪本社ホールホール(大阪)で行われた表彰式に出席し、記念講演を行いました。同賞は、21世紀の地球規模の課題である「食料」「水」環境の3分野で国内外の課題解決に向けて地道に取り組む個人や団体を顕彰するものです。

審判員からは、「地方の可能性や夢を感じさせる代表的事例(エコイーツ)として環境活動を進めており、持続可能性が高い等のコメントが寄せられました。」

喜びにあふれる受賞者(右は大前教授)

●Campus Town (S.C.P.)が第6回毎日地球未来賞の奨励賞を受賞

2017年7月12日(毎日新聞)大阪本社ホールホール(大阪)で行われた表彰式に出席し、記念講演を行いました。同賞は、21世紀の地球規模の課題である「食料」「水」環境の3分野で国内外の課題解決に向けて地道に取り組む個人や団体を顕彰するものです。

審判員からは、「地方の可能性や夢を感じさせる代表的事例(エコイーツ)として環境活動を進めており、持続可能性が高い等のコメントが寄せられました。」

Clubs

サイクリング部

自分の目で、自分の足で、今しかできない旅がある

自転車部日本横断を目標とする旅好きが集まるサークルです。創部は1964年。部員は男子18名、女子3名で、週2回の部会で週末の予定を立て、土日に旅専用の自転車「ランドナー」で鹿児島県内をのんびりサイクリングしながら美味しいものを食べたり、素晴らしい景色を眺めに行っています。夏には鹿児島まで行きま。

競技に挑戦する部員も多く、鹿児島県自転車競技連盟が主催する照葉樹の森サイクルジャブホルのヒルクライムコース(年別別)、かのやサイクルフェスティバル一般の部で優勝した者もいます。また、平成28年度は5人が日本横断を達成しました。

新歓キャンプをはじめ、ペア耐久レース、個人ツアーに向けての夏合宿、他大学との合同交歓会などの交流もあります。

旅好き、自転車好きは誰でも歓迎です。ロードレースに興味がある人も是非覗いてみてください。

構内で記念撮影